

# 業務仕様書

## 第1 業務名

令和7年度「美食王国もりおか」商談会出展支援業務委託

## 第2 目的

盛岡産農畜産物の生産者及び加工事業者（以下、「生産者等」という。）に対して、販路拡大に取り組む意識の醸成と商談等におけるスキルアップを図り、ひいては生産地としての盛岡市の認知度を向上させること。

※生産者とは、次のいずれかに該当する者をいう。

- ①盛岡市の区域内に住所を有し、自ら農業を営み、又は農業に従事する個人
- ②盛岡市の区域内に主たる事務所を有する農地法（昭和27年法律第229号）第2条第3項に規定する農地所有適格法人
- ③農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の認定を盛岡市から受けた者

※盛岡産農畜産物とは

主たる生産地が盛岡市の区域内のほ場等である農畜産物を指す。

## 第3 業務委託契約の上限額

1, 676, 000円（消費税及び地方消費税を含む。）

## 第4 履行期間

契約の日から令和7年12月31日まで

## 第5 委託業務内容

### 1 目標指標の設定

本業務の目的の達成に向けて、令和7年度から令和9年度までの3年度の期間を対象とした、年度ごとの目標指標を設定し提案すること。

### 2 業務の詳細

#### (1) セミナーの開催

生産者等に対し販路開拓に対する意識醸成を図るため、参加者を広く募るセミナーを1回以上、開催すること。

ア ターゲット

次のいずれかを対象とすること。

(ア) 販路開拓に興味があるが、何から手を付ければよいかわからない生産者等

(イ) 商談会への参加や個人での営業を経験済みだが、スキルアップを考える生産者等

#### イ テーマ

販路拡大に関する基礎知識、個別営業の仕方、商談会に参加するために必要な準備等

#### ウ 参加者の募集

多くの生産者等が参加するよう、盛岡市の広報媒体やチラシ、その他の広報媒体を活用して広く周知を行い、参加者を募集すること。

#### エ その他

会場として盛岡市の関連施設等を使用する場合は発注者と協議を行うこと。

### (2) 商談会への出展

生産者等から広く参加者を募集したうえで、以下の商談会に「美食王国もりおか」としてブース出展すること。

#### ア 出展する商談会

(ア) 商談会名 FOOD STYLE JAPAN 東京 2025

(イ) 開催日程 令和7年9月25日(木)、26日(金)

(ウ) 開催場所 東京ビッグサイト 東ホール

#### イ 参加者の募集と決定

生産者等が5人以上出展できるよう、盛岡市の広報媒体やチラシ、その他の広報媒体を活用して広く周知を行い、参加者を募集すること。

なお、参加者の決定については発注者が行う。

#### ウ 出展ブースの準備

(ア) 本事業の目的である、生産地としての盛岡市の認知度向上が期待できるよう、発注者と協議のうえ、「美食王国もりおか」ブースの装飾を作製すること。

なお、本事業は令和7年度から9年度までの3年間の実施を想定しており、ブース装飾に限っては、複数年度に渡って活用できるものが望ましい。

(イ) 主力となる商材がバイヤーの目に留まるよう、参加者毎に作成した出展商品又は参加者自体のPRポスター等をブースに掲示すること。

(ウ) その他、ブース運営や試食に必要なと想定される什器の手配を行うこと。

#### エ 参加者の支援

出展の効果が高まるよう、商談会への出展経験がない参加者を想定して、次の内容を含む支援を提案すること。

(ア) 商談会出展に向けた指導

・商談会に参加する意義や目的

- ・営業における F C P シート、商品説明資料やショップカードなどの重要性
- ・名刺交換の方法
- ・会場内での商談の進め方 など

(イ) 商談会参加手続きに関する支援

- ・商談会申込書の作成支援
- ・ F C P シートの作成支援
- ・名刺やショップカードの作成支援
- ・商品説明資料や P O P の作成支援 など

(ウ) 費用の負担

参加者 1 者につき、実費負担額が 6 万円以内となるよう、出展料及び旅費、宿泊費（2 泊まで）などを負担すること。

なお、1 者で 2 名以上の参加が見込まれる場合は、2 人目以降の旅費及び宿泊費は参加者の負担とすること。

(エ) 商談会当日のサポート

商談会当日に参加者のサポートをする人員を 2 名以上派遣すること。なお、発注者も同時に 2 名の人員を派遣するものとする。

(オ) 意見交換会の実施

参加者による意見交換会を 1 日目終了後に行い、当日の成果と課題を共有し、2 日目の商談会の成果向上につなげること。

(カ) 出展後のフォローアップ

商談会での結果を踏まえ、参加者が置かれている状況に合わせて、必要な営業活動や、取引に向けた商談・契約がスムーズに行われるよう、2 カ月程度のフォローアップを行うこと。

オ ヒアリングの実施と報告

商談会の実績、商談会後に実施したフォローアップの内容、参加者にヒアリングした成果と課題、求める支援などをまとめ、発注者に報告すること。

(3) 広報周知

セミナー及び商談会の参加者募集とは別に、県内マスメディアを中心に各業務の広報周知を行うこと。特に、盛岡市が支援を行っていることが広く生産者等や地域内の消費者に認知されることを意識すること。

### 3 その他

(1) 定例報告

委託業務を円滑に実施するため、1 カ月に 1 回程度、発注者と定例会議を行い、業務の進捗

を報告すること。ただし、特に支障がないと発注者が認める場合は、書面での定例報告を行うこととする。また、発注者が求めるとき又は業務上の必要があるときは、会議によらず業務報告を行うこと。

## (2) 追加提案等

本業務の目的に沿っており、かつ、事業成果の向上に資するものであれば、予算の範囲内において、上記2に記載された項目以外の追加提案又は代替提案を認めるものとする。

## (3) 参加料の徴収について

本事業の参加者から徴収する参加料については、事前に発注者に対して設定金額の根拠を説明し了承を得ること。

## 第6 再委託等の制限

- 1 受注者は、本業務を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。
- 2 受注者は、本業務の一部を第三者に委託することができるが、その際は事前に、再委託の内容、再委託先（商号又は名称）、その他再委託先に対する受注者の管理方法等、必要事項を発注者に文書で報告し、承認を得なければならない。
- 3 再委託先の選定、管理等に当たっては、法令遵守を徹底すること。

## 第7 要望等の処理

- 1 受注者は、要望、意見及び苦情等（以下、「要望等」という。）を受け付けたときは、その内容及び対応状況について、すみやかに、発注者に報告すること。
- 2 発注者は、前項により受注者が受け付けた要望等及び発注者が直接受け付けた要望等の内容及び対応状況について、必要に応じて広く盛岡市民に公表するものとする。

## 第8 権利の帰属

本業務により受注者が制作したコンテンツデータやイラスト等の意匠権及び全ての著作権（著作権法第27条及び第28条に定める権利を含む。）は、発注者に帰属するものとし、著作者人格権に基づく権利行使を行わないこととする。

## 第9 その他

- 1 委託業務の実施に当たって、第三者が所有するイラスト、写真等を使用する場合は、受注者の責任において著作権処理等を行うものとする。
- 2 委託業務において必要となる発注者が所有する資料等については、無償で受注者に貸与するものとする。受注者は、発注者から貸与された資料等の取扱いについて、善良な管理者としての注意を払わなければならない。また、業務が終了したとき又は合理的な理由により発注者が返却を

求めたときには、貸与された資料等を速やかに発注者に返却することとする。

- 3 委託業務の実施に当たっては、契約時に定める現場責任者（管理者）が、責任をもって指示及び管理・運営を行うものとする。
- 4 この仕様書に定めるもののほか、業務の実施に必要な事項は、発注者と受注者が協議して決定する。

## 第10 成果品

- 1 事業実績報告書 1部
- 2 各業務において作成する制作物等 1部
- 3 その他、発注者が必要と判断した資料等
- 4 上記の電子データ 一式

データ形式は、原則として、PDF、マイクロソフト社のワード、エクセル及びパワーポイント等で、発注者が利用可能なものとする。これらによることが難しい場合は、別途発注者と協議すること。